

小説家。明治二十年十一月八日東京生れ、昭和二十四年二月十九日歿（二九七一九四）。舊姓長岡一太橋、本名佐佐木房。筆名大橋房、大橋房子。大正八年青山學院卒。在學中日本基督教婦人矯風會に加はり、ガントレット恒の秘書を務むる。十二年渡歐し、第九回萬國婦人參政權大會に列席演説。十四年芥川龍之介の媒妁で作家佐佐木茂索と結婚。

著書『イースエル物語』（大橋房名、大正八年六月十五日警醒社書
店）、『葡萄の花』（同、大正九年五月十五日警醒社書店）、『斷髮』（同、大正十年七月一日警醒社書店）、『船出』（大橋房子名、大正十一年二月十七日アリス）、『豹の部屋』（昭和五年五月十日新潮社）『新選藝術派叢書』（『ヤンキー』）（合著・上田深治編、昭和十四年一月二十日京都・キタの編輯部）、『オチビ』（『オチビ』）（作品集）（女流文學者會編、昭和二十一年九月十五日中央公論社）等。